

# こころ こころこころ

新年度のごあいさつ

2025年発行  
vol.

72

## インクルーシブ社会を目指して

院長 森川 将行

### 各部門からのごあいさつ

.....  
こころの県民公開講座 開催案内

「女性が働きやすい医療機関」に  
認証されました!

地域連携Chirenニュース  
.....



よろしくお願ひ申し上げます!  
新たな職員も加わり、いっそう充実した  
医療を提供してまいります。



三重県立こころの  
医療センターのビジョン

県民の皆さんのより良いこころの健康をめざし、精神科疾患があっても  
地域で安心して暮らせるよう、医療サービスを提供していきます。



# インクルーシブ社会を目指して

院長 森川将行

障害者の権利に関する条約(略称:障害者権利条約) Convention on the Rights of Persons with Disabilities (以下、「CRPD」)は、「Nothing About Us Without Us」(私たちのことを、私たち抜きに決めないで)というスローガンの下、議論が重ねられ、平成18年12月、国際連合(以下、国連)総会本会議において採択されました。日本政府は、平成19年9月にCRPDに署名して国内法の整備を開始し、平成26年1月20日にCRPDを締結しました。令和6年10月26日時点で、これまで191の国・地域が批准し164の国・地域が署名しています。

CRPDでは、障害を従来の医学モデル(心身の障害のために社会生活上で制限を受ける)で考えるのではなく、障害は社会が作り出したものであるという社会モデルを超えて、障害の有無に関係なく一人一人の個人が大切にされるべきであるという人権モデルによって考える必要があると強調しています。つまり、障害をもつ人が病院や施設などで分離されて過ごすのではなく、障害に関係なく自分の意思で自分の住みたいところに自由に暮らすことができるインクルーシブ(包摂・包括)社会が目標になっています。障害をもつ人を分けて対応してきたこれまでの日本の対応に改善を求められています。当院においても、これまでインクルーシブ社会を目指した様々な取り組みを実践してきました。その中の一つとして病院の祭りである「こころしつとこ祭」があります。長らく新型コロナウイルス感染症のために中止もしくは縮小して院内に限定しておりましたが、今回、久しぶりに地域の方々を招いて令和6年11月9日に無事開催することができました。やきそば、フランクフルトなどの屋台、スタンプラリー、射的などのゲーム、健康に関する講演会や啓発コーナーに加えて、南が丘中学校、南郊中学校吹奏楽部による演奏がありました。そして、エイサー踊り、複数のよさこいチームの踊りが披露され、総踊りの際にはスタッフ、入院通院患者も加わり、まさに地域の方々と一体となりました。この光景がまさにインクルーシブ社会、誰もが取り残されない社会ではないかと感じています。これからも地域に開かれた精神科病院を目指して、職員一同努力を続けてまいりますので引き続き当院へのご理解とご協力のほどお願いいたします。



# 新しい仲間が 加わりました



山尾 優護  
令和6年10月から



藤田 到  
令和6年10月から



永野 皓子  
令和7年4月から



楠本 みちる  
令和7年4月から

診療部の  
新しい医師です

## 各部門からのごあいさつ

参事 楠本 みちる

三重県立こころの健康センターから8年ぶりに戻り再び勤務できることをうれしく感じます。近年メンタルヘルスの課題を抱える人が増えていることを身近で感じている方は多いと思いますが、精神科医療機関に通院する人も増加の一途をたどっています。微力ながら県民の皆様、関係機関の皆様の役に立てるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

副院長 中瀬 玲子

新年度が始まりました。様々な希望を胸に新しい生活に入ってきたことでしょうか。人生には思いがけない困難に遭遇することが多々あります。そんな時、「柔らかさ(フレキシビリティ)は生である」と老子は残しています。が、硬直的思考に陥らず、生き生きと、こころも体も柔らかく、思いやりのある行動をとれるように地道な努力をしていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

副院長兼  
地域生活支援部長 芳野 浩樹

当院では、地域の方々の精神の病気に対し、医師や看護師、心理士、作業療法士、社会福祉士など多職種が密に連携し、迅速かつ丁寧に対応しています。近年は、思春期青年期の病や、新たな依存症にも力を入れています。治療の場だけでなく、地域で安心して暮らし続けられるよう、生活支援にも力を入れて、個々の人が自分らしく生きられるようにサポートしていきます。

看護部長 吉田 博樹

新年度を迎えるにあたり、看護部では「家族支援の充実」、「精神科認定看護師による看護相談の体制強化」を図り、より専門性の高い支援と質の高いケアを提供できるよう人材育成に努めてまいります。患者さんとご家族、関係する機関の皆様へ信頼される看護を目指し、スタッフ一同、気持ちを新たに取組んでまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度

# こころの県民公開講座

## “心に傷を負った若者たちへの支援”

- 日時** 令和7年7月5日(土) 午前9時30分～11時30分(受付:午前9時～)
- 場所** 三重県勤労者福祉会館 6階講堂
- 講師** 森川将行院長、芳野浩樹副院長、他

本講演会では、心に深い傷を負った若者たちに対する支援のあり方を考えます。トラウマ体験や過量服薬、リストカットなどの問題に直面する若者への対応事例や支援体制の構築について、現場の取り組みを交えて紹介し、共に支える社会の可能性を探ります。

※詳細は後日HPIにて公表します。ご確認ください。

手話通訳あり

申し込み  
先着順

定員  
150名

参加費  
無料



## 女性が働きやすい医療機関に 認証されました!

令和7年3月18日、当院は三重県より「女性が働きやすい医療機関」として認証を受けました。

今後も女性職員に限らず、全ての職員にとって働きやすい職場となり、ひいては患者の皆様によりよい医療サービスが提供できるよう、職場環境の改善により一層積極的に取り組んでまいります。



三重県の服部副知事(右)より認証書を交付していただきました。

## 地域連携

Chiren ちれん



すべては患者さんの最良の医療の継続のために—連携  
 \ 今年度もどうぞよろしくお願いいたします /

### ちれんの主な業務内容

- 関係機関との連携
- 受診・入院の受け入れ相談
- 他科受診調整
- 広報活動(こころしっとこセミナー、他)
- 診療情報提供書の管理

## 令和6年度実績

- 新規患者数……………841名
- 新規紹介患者数……………583名
- 紹介率……………69%
- 紹介元医療機関数……………248機関
- 紹介元件数……………665件
- 紹介先件数……………647件
- 関係機関訪問件数……………244件

## 外来担当医

※休診日/土・日曜・祝祭日及び年末年始

初診外来は、予約制です。ご予約先: 初診外来予約専用電話 059-253-3120(9:00~13:00)

	診察室1	診察室2	診察室3	診察室4	診察室5	診察室6	診察室7	診察室10	診察室11	診察室12
月	初診	久納	山尾	濱本	楠本		坂本	山城	藤田	
火	初診	森川		芳野	中瀬	吉見	小畑	藪	(もの忘れ) 吉丸 脳神経内科	
水	初診	佐野	乾	楠本			小畑	山城	(もの忘れ) 吉丸 脳神経内科	
木	初診	森川	乾	AM 外部医師	久納	金井	山本		三輪	PM 中島
金	初診	AM 森川(もの忘れ)		芳野	永野	佐野	吉見	藪	(もの忘れ) 小川 脳神経内科	

※令和7年4月1日現在

## 編集後記

新緑が映え、夏の気配を感じる季節になってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。早いもので、私が広報委員として携わらせていただき1年が経過しました。これからも皆さんに楽しんでいただける広報紙づくりを目指していきたいと思ひます。なお、当院の広報紙は、ホームページからもご覧いただけます。過去にも当院ならではの色々なテーマを取り上げていますので、ご興味のある方は、ぜひホームページからチェックしてみてください。 広報委員会/総務課 長谷川



三重県立こころの医療センター

〒514-0818 三重県津市城山1丁目12-1  
TEL 059-235-2125 FAX 059-235-2135

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROHP/HP/>

